



# 104名で新年度スタート！

入学や進級といった学年の節目は、新しい出会いもあり、不安であると同時に自分自身を更に成長させるチャンスもあります。子供たちは、この一年間、学習や体験活動、遊び等、いろんなことを通して、また更に成長していくってくれると思います。

そんな子供たちをバックアップしたいと始業式では、幕末に活躍した吉田松陰の「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、ゆえに、**夢なき者に成功なし！**」という言葉を引用し、夢を目標に置き換えて次のような話をしました。目標をしっかりと立てて、様々な教育活動に「やる気」をもってチャレンジし、失敗しても何度も取り組み、たくさんの成功体験を積み、「自信」を付けていきましょうということです。

今年のキーワードも「やる気」と「自信」です。ランドセルに、「やる気」をたくさん詰めて登校し、下校するときは「自信」に換えて笑顔で家に帰ってほしいと思います。



## 入学おめでとう！



4月9日（水）に入学式を行いました。本年度から宇城市長様及び学校運営協議会の皆様に加え、各地区の区長様方にもご臨席を賜り、在校生にも見守られる中、昨年度より、少しにぎやかな雰囲気の中での入学式でした。かわいい式服を身にまとい、少し緊張気味の1年生の姿に微笑しさを感じました。

子供たちは集団の中でさまざまな課題と出会いながら、少しずつ成長し、自立し、社会性を育んでいきます。これから保護者の皆様と連携し、地域の方の協力を得ながら、義務教育の後の年となる8年後（中学3年生時）の子供たちの姿をイメージして健やかに育てていきたいと思います。

## 五者連携で子供を真ん中に据えた教育を目指して

小野部田小学校は豊かな環境に恵まれ、地域に根差したすばらしい学校だと自負しています。子供を中心据えて、家庭、学校、地域・行政がそれぞれの役割をしっかりと果たし、子供の成長をしっかり支えていかなければと思っています。

地域学校協働活動を推進し、地域の教育力を最大限に活用していくためにも保護者の皆様のご理解とご協力が重要となってきます。子供たちの健やかな成長と自立を支えていくためにも子供たちに関わるすべての大人ががっちりスクラム(SCRAM)を組んで教育活動に取り組んでいきましょう！

### 教育理念のイメージ



# 40分授業午前5時間授業の取組について(総括)

小野部田小学校では、令和6年度の後期（10月）からこれまでの日課を大幅に見直し、1単位時間の授業を45分から40分に短縮して午前中に5時間授業実施する選考実践に取り組んできました。



まだ課題はたくさんありますが、子供たちや保護者に対するアンケートの結果を見てみると、おおむね好評でした。

具体的な意見では、「家庭で過ごす時間が長くなりゆとりのある生活となった。」「習い事や塾に行くまでの時間にゆとりがあり、宿題ができる。」「家族と過ごす時間が増え、有意義に過ごせている。」などでした。

子供たちからの意見では、取り組み始めた当初は「給食の時間が遅くなつたのでおなかが減る。」というものはありませんでしたが、逆転の発想で「朝食をしっかりとるようになった。」という意見がありました。他にも、「宿題や自主学習など自分で考えて行動する時間が増えたのでよかった。」「友達と遊べる時間が増えてうれしい。」というものがありました。

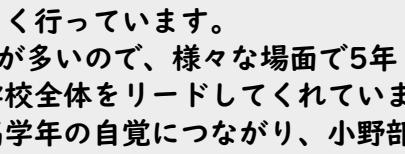
貴重な意見をもとに、令和7年度もさらに充実した実践につなげていきたいと考えています。

## 高学年のリーダーシップ！

4月18日（金）に1年生を迎える会と歓迎遠足を実施しました。1年生の体力を考慮し、遠足は通学の一部を歩いて回る程度にしましたが、高学年が1年生の手を引いて安全に歩くことができました。

5月には運動会を計画していますので、4月22日（月）からは、早速高学年が1年生を体育館に連れ出し、集団行動や行進の練習を楽しく行っています。

本年度は6年生より1年生の人数が多いので、様々な場面で5年生にも協力してもらいました。このような活動の一つ一つが高学年の自覚につながり、小野部田小学校の伝統を築いているのだとつくづく感じています。



左に示しているような考え方をベースに、①子供たちの個別最適な学びへの挑戦、②学校裁量の時間の充実、③教職員の働き方改革の3つの観点に沿って授業改善や活動内容の工夫を行いました。

学習指導要領に示されている授業時数は年間1015時間です。1コマ45分ですから1年間にすると高学年では5075分の短縮となり、短時間学習（20分）でタブレットやドリル等を活用した個別学習に取り組んだり、小野部田小ならではの縦割り班活動を充実させ、学習意欲の向上を図ったりしました。また、短時間学習と6校時を合わせて60分授業（長時間学習）を実施することも可能になりました。この長時間学習では、探求学習や技能教科、ゲストティーチャーを招聘した授業などで活用しました。日華や取り組みの詳細は下図のようになります。

変更前の日課 <勤務開始>		変更後の日課 <勤務開始>	
8:15	健康観察・朝活動等	8:15	健康観察・朝活動等
8:40	I校時	8:30	I校時
9:25	2校時	9:10	2校時
9:35	3校時	10:00	3校時
10:20	4校時	10:50	4校時
10:30	給食	11:00	給食
11:15	昼休み（休憩）	11:40	昼休み（休憩）
11:25	掃除・業間活動等	11:50	のびのびタイム・掃除等
12:10	5校時	12:30	5校時
12:55	給食	13:15	のびのびタイム・掃除等
13:30	6校時	13:45	のびのびタイム・掃除等
13:45	7校時	13:50	のびのびタイム・掃除等
14:35	下校指導	14:10	5校時
14:45	事務整理 夕会（見つめる会）	14:50	下校指導
15:30	休憩	15:10	事務整理 夕会（見つめる会）
15:45		16:26	休憩
16:25		16:40	
16:40		16:45	
16:45			

## 40分授業で生み出した時間の活用

小学校の年間指導時数は1015コマ  
5分×1015コマ=5075分の短縮

5075分を学校裁量の時間として活用

### ◎のびのびタイム（20分）

- ・短時間学習の時間（タブレットやドリル）
- ・長時間学習（60分授業）
- ・縦割り班活動

### ◎教師の意識改革

- ・教材研究、児童と向き合う時間、事務整理の時間の確保（40分→75分）
- ・授業改善、個別最適な学びの確立
- ・体験的学習と探究的な学習の充実

## PTA活動について

昨今のニュース等でPTA活動について話題になっています。PTA総会でもお話ししましたように、小野部田小学校は、保護者や地域の皆様のご理解とご協力がなければ充実した教育活動を展開することが難しい学校です。PTA活動はあくまで任意の活動ですが、子供たちの成長を後押しするためにも「できることを、できるときには、できるだけ」の精神で活動に参加していただければと思っています。